

令和8年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の146%、降水日数は平年より0.5日多く、日照時間は平年の145%であった。
 9月上旬:平均気温は平年より2.9℃低く、降水量は平年の197%、降水日数は平年より2.7日多く、日照時間は平年の78%であった。
 9月中旬:平均気温は平年より0.7℃高く、降水はなく、日照時間は平年の133%であった。

8月下旬から9月中旬までの平均気温は平年より0.9℃低く、降水量は平年の94%、降水日数は0.7日少なく、日照時間は平年の116%であった。

気 象 表
 (アメダス岩見沢)

月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	21.1	21.8	△ 0.7	26.2	26.4	△ 0.2	16.9	17.9	△ 1.0	100.0	68.6	31.4	5.0	4.5	0.5	78.3	53.9	24.4
9月	上旬	18.1	21.0	△ 2.9	23.3	26.1	△ 2.8	13.2	16.5	△ 3.3	47.5	24.1	23.4	5.0	2.3	2.7	49.1	63.3	△ 14.2
	中旬	18.6	17.9	0.7	24.4	23.1	1.3	13.0	13.4	△ 0.4	0.0	64.1	△ 64.1	0.0	3.9	△ 3.9	71.0	53.4	17.6
平均(合計)		19.3	20.2	△ 0.9	24.6	25.2	△ 0.6	14.4	15.9	△ 1.5	147.5	156.8	△ 9.3	10.0	10.7	△ 0.7	198.4	170.6	27.8

- 注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。
- 注2) 平年値は過去10年間の平均値。
- 注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
- 注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。
- 注5) △は低・少を示す。

Ⅱ 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年と同日の4月17日に行った。出芽期は平年並であった。出芽後の気温・日照時間は平年並みであったが、寒暖差が大きかった。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗形質は概ね平年並みであった。草丈は平年の94～98%、主稈葉数は2品種ともに平年より0.2枚多く、第1葉鞘高は平年の93～94%であった。地上部乾物重は平年の107～108%であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや良

事由:移植後の気象は平年並で活着は順調であった。その後は概ね高温・多照に経過したため、生育は前進した。

6月20日における茎数はゆめぴりかは平年並であったが、ななつぼしは平年比123%と多かった。草丈は平年の112～113%、主稈葉数は平年より0.4～0.5葉多かった。

以上により、現在の作況は、やや良である。

7月20日 やや良

事由:6月下旬から7月上旬までの気象は概ね平年並であったが、前報までに生育が前進していたため、幼穂形成期は平年より3日、止葉期は平年より5日早かった。

7月20日における茎数および止葉葉数は平年並であったが、草丈は平年比112%と高かった。

以上により、現在の作況は、やや良である。

8月20日 平年並

事由:出穂期は平年より3日早く、穂揃日数は平年より0.2日短かった。

出穂後の7月下旬は平年より低温・寡照に経過したため、登熟は停滞した。

8月20日における稈長は平年の103～106%、穂長は平年の98～99%、穂数は平年の93～98%であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

9月20日 平年並

事由:9月上旬は低温傾向であったが全般に日照時間が多かったことから、成熟期は平年より2～3日早かった。登熟日数は概ね平年並であった。

一穂粒数は平年の97～102%で、m²あたり粒数は平年の94～95%と少なかった。稈実歩合は平年より1.1～3.1ポイント高かったが、m²あたり稈実粒数は平年の95～98%とやや少なかった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

品種名 苗種		ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月・日)	4.17	4.17	0	4.17	4.17	0
出芽期	(月・日)	4.22	4.22	0	4.22	4.22	0
移植期	(月・日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1
幼穂形成期	(月・日)	6.26	6.29	△ 3	6.26	6.29	△ 3
止葉期	(月・日)	7.10	7.15	△ 5	7.11	7.16	△ 5
出穂期	(月・日)	7.22	7.25	△ 3	7.22	7.25	△ 3
成熟期	(月・日)	9.07	9.09	△ 2	9.06	9.09	△ 3
穂揃日数	(日)	6.0	6.2	△ 0.2	6.0	6.2	△ 0.2
登熟日数	(日)	47	46	1	46	46	0
生育日数	(日)	143	145	△ 2	142	145	△ 3
草丈(cm)	移植時	10.8	11.0	△ 0.2	10.2	10.8	△ 0.6
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.3	1.0	0.3
主稈葉数(枚)	移植時	3.4	3.2	0.2	3.6	3.4	0.2
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.6	2.8	△ 0.2	2.4	2.6	△ 0.2
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.54	2.37	0.17	2.58	2.40	0.18
地上部乾物重/草丈	移植時	0.24	0.22	0.02	0.25	0.22	0.03
草丈	6月20日	31.3	27.6	3.7	30.7	27.5	3.2
(cm)	7月20日	79.5	71.1	8.4	79.3	71.1	8.2
茎数	6月20日	396	321	75	389	382	7
(本/㎡)	7月20日	658	644	14	774	768	6
主稈	6月20日	7.5	7.1	0.4	7.9	7.4	0.5
葉数	7月20日	10.2	10.2	0.0	10.8	10.6	0.2
(枚)	止葉	10.2	10.3	△ 0.1	10.8	10.6	0.2
稈長	(cm)	68.5	66.2	2.3	68.3	64.4	3.9
穂長	(cm)	16.0	16.2	△ 0.2	16.4	16.7	△ 0.3
穂数	(本/㎡)	595	608	△ 13	664	716	△ 52
一穂粒数	(粒/本)	49.6	51.2	△ 1.6	42.4	41.7	0.7
粒数	(千粒/㎡)	29.5	31.1	△ 1.6	28.2	29.9	△ 1.7
稈実歩合	(%)	96.9	93.8	3.1	95.0	93.9	1.1
稈実粒数	(千粒/㎡)	28.6	29.2	△ 0.6	26.8	28.1	△ 1.3
登熟歩合	(%)		87.9			85.7	
登熟粒数	(千粒/㎡)		27.3			25.6	
籾摺歩合	(%)		78.5			74.8	
屑米歩合	(%)		4.7			8.0	
精玄米千粒重	(g)		23.0			23.4	
わら重	(kg/a)		60.1			60.8	
精粒重	(kg/a)		74.8			72.7	
精玄米重	(kg/a)		58.7			54.4	
屑米重	(kg/a)		2.9			4.7	
収量平年比	(%)		100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和6年(最豊)、令和7年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土

施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱

栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/㎡ 3～4本植え

移植方法 : 手植え

反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和8年8月下旬～9月中旬までの概況は次のとおりである。

8月

下旬：平均気温は平年並であった。降水量は平年の60％と少なく、日照時間は平年の162％と多かった。平年に比べ少雨・多照であった。

9月

上旬：平均気温は平年に比べ-2.7℃とかなり低かった。降水量は平年の160％と多く、日照時間は平年の74％とやや少なかった。平年に比べ低温・多雨であった。

中旬：平均気温は平年並であった。降水量は平年の4％と少なく、日照時間は138％とやや多かった。平年に比べ少雨であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年に比べ-0.8℃とやや低く、降水量は平年の62％とやや少なく、日照時間は平年の121％とやや多かった。

気 象 表

道総研中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	21.5	21.6	△0.1	26.1	26.0	0.1	17.5	17.9	△0.4	33.0	55.0	△22.0	5.0	5.4	△0.4	81.6	50.4	31.2
9月	上旬	18.1	20.8	△2.7	23.0	25.7	△2.7	13.2	16.4	△3.2	50.0	31.3	18.7	5.0	3.4	1.6	45.8	61.8	△16.0
	中旬	18.3	17.9	0.4	24.5	22.9	1.6	12.0	13.3	△1.3	2.0	50.8	△48.8	2.0	3.7	△1.7	70.4	51.0	19.4
平均(合計)		19.3	20.1	△0.8	24.5	24.9	△0.4	14.2	15.9	△1.7	85.0	137.1	△52.1	12.0	12.5	△0.5	197.8	163.2	34.6

注1) 気象データはアメダス長沼。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。

注5) △は平年値に対し本年値が少ない、あるいは小さいことを示す。

II 作況

1. 秋まき小麦 記載事項なし

2. 春まき小麦 記載事項なし

3. 大豆

6月20日 やや良

事由:播種期は平年並の5月19日であった。播種後平年並の気温、降水量、日照があったことから出芽期は平年より3日早い5月29日であった。その後、6月上旬は平年並の気温でまとまった降水量があり、中旬は気温が高く、日照時間も多かったことから主茎長は平年よりやや高く、主茎節数はやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日 平年並

事由:6月下旬～7月上旬の気温はやや低く経過し、開花期は平年より1日早い7月11日となった。6月下旬以降まとまった降雨があり、7月中旬は高温に経過したため主茎長は平年より長く、主茎節数は平年並、分枝数はやや多かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 平年並

事由:7月中下旬に降水量が多く、8月上旬の日照が多かったため主茎長は平年よりやや長く、分枝数はやや多かった。主茎節数、着莢数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日 平年並

事由:平年に比べ気温はやや低かったが、日照時間が多かったことから主茎長は平年より高く、主茎節数および分枝数、着莢数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名		トヨムスメ		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.19	0
出芽期	(月.日)	5.29	6.1	△3
開花期	(月.日)	7.11	7.12	△1
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	13.9	12.4	1.5
	7月20日	57.3	48.6	8.7
	8月20日	60.0	54.2	5.8
	9月20日	61.2	53.3	7.9
	成熟期		52.9	
主茎節数 (節)	6月20日	4.4	3.5	0.9
	7月20日	10.2	9.7	0.5
	8月20日	10.0	9.9	0.1
	9月20日	10.0	10.0	±0.0
	成熟期		9.7	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.5	6.2	1.3
	8月20日	8.4	6.9	1.5
	9月20日	6.9	6.8	0.1
	成熟期		6.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日	85.3	86.2	△0.9
	9月20日	76.4	78.8	△2.4
	成熟期		79.5	
一莢内粒数			1.86	
子実重 (kg/10a)			458	
百粒重 (g)			37.4	
屑粒率 (%)			1.7	
品質 (等級)			2下	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和6年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年並の5月22日であった。播種後に適度な降水があり気温は平年並に推移したことから、出芽期は平年より5日早い6月3日であった。主茎長および主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：開花期は平年より4日早い7月16日であった。主茎長は平年よりかなり長く、主茎節数は平年より多く、分枝数は平年並である。7月3半旬以降、高温に推移したことで生育が早まったうえ、降水量が多く日照時間が少なかったことから、徒長傾向にある。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：平年並

事由：主茎長は平年よりかなり長く、主茎節数は平年よりやや少なく、分枝数および着莢数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日作況：平年並

事由：成熟期は9月2日で平年より5日早かった。主茎長は平年よりかなり長く、主茎節数は平年よりやや少なく、分枝数および着莢数は平年より少ない。一莢内粒数は平年よりやや多い。

品種名		エリモ167		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.03	6.08	△ 5
開花期	(月.日)	7.16	7.20	△ 4
成熟期	(月.日)	9.02	9.07	△ 5
主茎長 (cm)	6月20日	5.3	4.9	0.4
	7月20日	39.9	21.9	18.0
	8月20日	81.7	59.3	22.4
	成熟期	81.5	63.2	18.3
主茎節数 (節)	6月20日	2.3	2.0	0.3
	7月20日	12.2	9.3	2.9
	8月20日	14.3	15.3	△ 1.0
	成熟期	13.7	14.7	△ 1.0
分枝数 (本/株)	7月20日	4.3	4.4	△ 0.1
	8月20日	4.5	5.0	△ 0.5
	成熟期	3.2	4.6	△ 1.4
着莢数 (莢/株)	8月20日	52.6	55.9	△ 3.3
	成熟期	37.7	47.1	△ 9.4
一莢内粒数		6.65	6.00	0.65
子実重	(kg/10a)		301	
百粒重	(g)		13.4	
屑粒率	(%)		5.7	
品質	(等級)			
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値は前7カ年中、令和3年(最豊)、令和5年(最凶)を除く、5カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より20日早い3月9日であった。植付期は平年より3日遅い4月28日であった。植付期以降、気温は平年並からやや高く推移した。萌芽期は5月17日で平年より2日早かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：萌芽期は平年より2日早い5月17日であった。気温は6月下旬、6月上旬は平年並、6月中旬は平年よりやや高く推移した。開花始は平年並の6月16日であった。6月20日現在の茎長はほぼ平年並、茎数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降は気温はほぼ平年並に推移したが、7月中旬は気温が平年より高く、降水量が平年より多かった。7月15日頃から茎葉の黄化が始まっている。7月20日現在の茎長は平年並、茎数は平年並である。7月16日の風雨により地上部は大部分が倒伏した。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：平年並

事由：平均気温は7月下旬から8月上旬は低く、8月中旬は高く推移した。降水量は8月上旬から中旬は平年より少なかった。8月20日現在、枯凋期には達していない。株当たりの上いも数、上いも平均一個重はほぼ平年並で、上いも重はほぼ平年並であった。でん粉価は平年より低かった。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日作況：平年並

事由：枯凋期は平年より3日遅い8月27日であった。枯凋期における株当たりの上いも数は平年よりやや多く、上いも平均一個重はやや小さかった。上いも重は平年並、中以上いも重は平年比93%、でん粉価は平年をやや下回った。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次		品種名 男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.28	4.25	2
萌芽期	(月.日)	5.17	5.19	△ 2
開花始	(月.日)	6.16	6.16	△ 0
枯凋期	(月.日)	8.27	8.24	3
茎長	6月20日	35	34	1
(cm)	7月20日	41	41	0
茎数	6月20日	4.6	5.1	△ 0.5
(本/株)	7月20日	5.3	5.3	0.0
8月20日における				
上いも数	(個/株)	13.4	13.2	0.2
上いも平均一個重(g)		78	81	△ 3
上いも重	(kg/10a)	4745	4694	51
でん粉価	(%)	14.2	15.4	△ 1.2
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	14.2	13.5	0.7
上いも平均一個重(g)		77	83	△ 6
上いも重	(kg/10a)	4880	4861	19
中以上いも重(kg/10a)		3648	3907	△ 259
でん粉価	(%)	14.4	15.1	△ 0.7
上いも重平年対比 (%)		100	100	0
中以上いも重 "	(%)	93	100	△ 7
でん粉価 "	(%)	95	100	△ 5

注) 平年値は前7か年中、令和7年(最凶)、令和5年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、枯凋期は二次生長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。